

単元名 比例

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 比例の意味を知り，簡単な場合についての比例の関係を理解することができる。
 (2) 簡単な場合について，比例しているかどうかを判断することができる。
 (3) 伴って変わる2つの数量の関係に関心を持ち，進んで表や図を使って考えたり，説明したりしようとする。

標準的な展開例

05040104_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 伴って変わる2つの量について調べ，単元の学習課題をつかむ。[p. 28～p. 30]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の学習課題をつかむ。 ★ともなって変わる2つの数量の関係について調べていこう。 ○レンガの数と全体の高さの表を，横に見る方法で比例の特徴を考え，説明する。 ○比例の定義をまとめる。 <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 比例関係をもとに，他方の値を考える。[p. 31]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★リボンの長さと代金の関係を調べよう。 ○リボンの長さと代金の関係の表から，2つの量が比例しているかどうか判断する。 <p>○比例関係をもとにして，リボンの代金を求める問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表の数値を横に見ると，どのように変わっていくかを発表させる。 ・児童の発表を踏まえて，比例する2つの量では，一方の値が2倍，3倍…になると，他方の値も2倍，3倍…になることをまとめさせる。 <p>【評】比例の特徴を表の値から見付けて説明をする活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習した比例の性質を確認してから，課題に取り組ませるとよい。 ・表を横に見る変化の見方で調べて判断させる <p>【評】表を横に見て，2つの数量が比例しているかどうかを判断する活動を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元では，変わる様子を表に表して考察し，比例の意味について学習する。また，本単元が中学校における関数学習の基礎となることも念頭に置いて，単元構成や授業展開を工夫する必要がある。